

O218-P003

会場: ポスター会場

時間: 5月28日

孔井間地中レーダによる人工池直下の不飽和帯ダイナミクスのモニタリング

Cross borehole radar monitoring for the vadose zone dynamics beneath an artificial pond

黒田 清一郎 [1]; 澁谷 達也 [2]; 斎藤 広隆 [3]; 奥山 武彦 [4]; 竹内 睦雄 [5]

Seiichiro Kuroda[1]; Tatsuya Shibuya[2]; Hirotaka Saito[3]; Takehiko Okuyama[4]; Mutsuo Takeuchi[5]

[1] 農工研; [2] 富山県; [3] 東京農工大・農・地域生態システム; [4] (独) 農研機構・農工研; [5] (有) 探査環境技術事務所

[1] NIRE; [2] Toyama pref.; [3] Ecoregion Sci., TUAT; [4] NIRE; [5] GEE

近年、孔井間地中レーダによるモニタリングは地表から地下水面までの不飽和帯、すなわちベイドスゾーンでの水移動を調査するツールとして知られている。人工的に増築された調整池の直下でのベイドスゾーンの過程を定量的に解明するために、孔井間地中レーダによるモニタリングを実施した。人工池からの地下水涵養過程を明瞭に解明し、また定量的な評価を試みた。